

東亜ディーケーケー(株)  
 SDS 番号: C1445849-M00190-37  
 製品名: クロロホルム ACS 500ml

作成日 2008 年 7 月 8 日  
 改訂日 2025 年 12 月 25 日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : クロロホルム ACS 500ml  
 カタログ No : 1445849  
 品目コード : HACH0239  
 供給者の会社名称, 住所及び電話番号  
 東亜ディーケーケー株式会社  
 東京都新宿区高田馬場 1-29-10  
 担当部門 : 生産部 HACH 技術課  
 04-2957-6152  
 F A X 番号 : 04-2957-9906  
 推奨用途 : HACH 社計器への使用に限る  
 使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 健康有害性

急性毒性（経口） 区分 4  
 急性毒性（吸入：蒸気） 区分 3  
 皮膚腐食性／刺激性 区分 2  
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1  
 生殖細胞変異原性 区分 2  
 発がん性 区分 2  
 生殖毒性 区分 2  
 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 1（肝臓 呼吸器 心血管系 腎臓）  
 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（麻醉作用）  
 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（肝臓 呼吸器 腎臓 中枢神経系）

##### 環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） 区分 3  
 水生環境有害性 長期（慢性） 区分 1

（上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。）

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



##### 注意喚起語

##### 危険有害性情報

危険  
 飲み込むと有害  
 皮膚刺激  
 重篤な眼の損傷  
 吸入すると有毒  
 眠気又はめまいのおそれ  
 遺伝性疾患のおそれの疑い  
 発がんのおそれの疑い

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C1445849-M00190-37

製品名: クロロホルム ACS 500ml

	<p>生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い          肝臓、呼吸器、心血管系、腎臓の障害          長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、呼吸器、腎臓、中枢神経系の障害          水生生物に有害          長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性</p>
注意書き	
安全対策	<p>使用前に取扱説明書を入手すること。          全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。          粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。          粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。          取扱い後はよく手を洗うこと。          この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。          屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。          環境への放出を避けること。          保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。</p>
応急措置	<p>飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。          皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。          吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。          眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して          いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。          ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。          ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。          直ちに医師に連絡すること。          医師に連絡すること。          気分が悪いときは医師に連絡すること。          気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。          特別な処置が必要である（詳細は、SDS4 項：応急措置を参照のこと）。          口をすすぐこと。          皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。          汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。          漏出物を回収すること。</p>
保管	<p>換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。          施錠して保管すること。</p>
廃棄	<p>地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た          廃棄物処理業者に委託処理する。</p>

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	クロロホルム
含有量	100.0%
化学式又は構造式	CHCl <sub>3</sub>
官報公示整理番号	
化審法	2-37
安衛法	—
CAS No.	67-66-3

東亜ディーケーケー(株)  
 SDS 番号: C1445849-M00190-37  
 製品名: クロロホルム ACS 500ml

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合は直ちに医師の診断、手当てを受けること。呼吸が停止した場合、人工呼吸を行い、直ちに医師の診断、手当てを受けること。飲み込んだり吸入した場合は、口対口の人工呼吸は行わずに、バグバルブマスク等の適切な医療用具で人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合は、訓練を受けた者が酸素吸入を行うこと。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水と石鹼で15分間以上良く洗うこと。刺激や炎症が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の水で、まぶたの下まで15分間以上良く洗うこと。眼を大きく見開いて洗浄すること。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。炎症が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。患部をこすらないこと。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。水で口をすすいだ後、多量の水を飲ませること。意識がない場合は口から何も与えないこと。直ちに医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状  
 医師に対する特別な注意事項 : 涙目、充血を起こすことがある。発赤、灼熱感、せき、喘息、呼吸困難  
 : 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 周囲の火災状況及び環境に応じて、適切な消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 火災時の特有の危険有害性 : データなし
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、自給式呼吸器および防護服を着用する。個人用保護具を着用すること。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な換気を行うこと。指定された個人用保護具を使用すること。漏出区域から離れた、風上の安全な場所に退避させること。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。蒸気やミストを吸入しないこと。
- 環境に対する注意事項 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。不活性吸着剤（砂、シリカゲル、酸結合剤、万能結合剤、おが屑など）で吸収すること。工具を用いて漏出物を適切な容器に集めること。
- 二次災害の防止策 : 漏出物と漏出場所は環境規制に従い浄化すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。汚染された衣類はすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。蒸気やミストは吸入しないこと。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。本製品を使用する際は、密閉された装置、または適切な排気装置を使用すること。
- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : データなし
- 接触回避 : データなし
- 保管 : 容器は密栓し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。子供の手の届かないところに保管すること。施錠して保管すること。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C1445849-M00190-37

製品名: クロロホルム ACS 500ml

安全な保管条件 : データなし  
安全な容器包装材料 : データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 : OSHA PEL ;  
クロロホルム : (vacated) TWA 2ppm, (vacated) TWA 9.78mg/m<sup>3</sup>,  
Ceiling 50ppm, Ceiling 240mg/m<sup>3</sup>

ACGIH TLV ;  
クロロホルム : TWA 10ppm

設備対策 : 安全シャワー、洗眼設備、換気設備

### 保護具

呼吸用保護具 : 適切な換気  
手の保護具 : 不浸透性手袋、保護手袋、耐化学薬品性手袋（ブチルゴム製手袋、ニトリルゴム製手袋）  
眼、顔面の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡、保護面  
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣（長袖）

一般的な衛生上の注意事項 : この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。作業を中断する場合や使用後は直ちに手をよく洗うこと。適切な保護具を着用すること。眼、皮膚、衣類への接触を避けること。蒸気やミストを吸入しないこと。汚染された衣類や手袋などをすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をし、内側までよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。装置や作業場、作業服は定期的に清掃すること。

環境ばく露対策 : 下水系、地面、及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場合は地方自治体へ通知のこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体  
色 : 無色、透明  
臭い : エーテル臭  
分子量 : 119.37g/ mole  
融点／凝固点 : -64°C; -83.2°F  
沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 61°C; 141.8°F  
可燃性 : データなし  
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 該当せず  
引火点 : データなし  
自然発火温度 : データなし  
分解温度 : データなし  
pH : データなし  
動粘性率 : データなし  
溶解度 : 水 : 溶解する (8000mg/L, 20°C; 68°F)  
エチルアルコール : 溶解する (>1000mg/L, 25°C; 77°F)  
ベンゼン : 溶解する (>1000mg/L, 25°C; 77°F)  
二硫化炭素 : 溶解する (>1000mg/L, 25°C; 77°F)  
四塩化炭素 : 溶解する (>1000mg/L, 25°C; 77°F)  
エーテル : 溶解する (>1000mg/L, 25°C; 77°F)  
n-オクタノール／水分配係数 (log 値) : log K<sub>OW</sub>=1.97  
蒸気圧 : 21.2kPa/ 159.016mmHg (20°C; 68°F)  
密度及び／又は相対密度 : 1.49  
相対ガス密度 : 蒸気密度 : 4.36  
粒子特性 : データなし

東亜ディーケーケー(株)  
 SDS 番号: C1445849-M00190-37  
 製品名: クロロホルム ACS 500ml

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 該当せず
化学的安定性	: 適切な条件下にて安定である。
危険有害反応可能性	: 通常使用下にて特になし
避けるべき条件	: 過度の熱
混触危険物質	: 強酸類、強塩基類、強酸化剤
危険有害な分解生成物	: ホスゲン、塩化水素、一酸化炭素

## 11. 有害性情報

急性毒性	
（経口）	: 急性毒性推定値 LD50=445mg/kg
（吸入：蒸気）	: 急性毒性推定値 LC50=2310ppm
皮膚腐食性／刺激性	: 混合物の皮膚腐食性／刺激性成分濃度により区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 混合物の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性成分濃度により区分1とした。
呼吸器感作性	: データなし
又は皮膚感作性	
生殖細胞変異原性	: 混合物の生殖細胞変異原性成分濃度により区分2とした。
発がん性	: ACGIH A3（確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明）、IARC グループ2B（作用因子はヒト発がん性の可能性がある）、NTP（合理的にヒト発がん性因子であることが予測される）、OSHA リスト記載あり
生殖毒性	: 混合物の生殖毒性成分濃度により区分2とした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 混合物の特定標的臓器毒性（単回ばく露）成分濃度により区分1（肝臓 呼吸器 心血管系 腎臓）区分3（麻酔作用）とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 混合物の特定標的臓器毒性（反復ばく露）成分濃度により区分1（肝臓 呼吸器 腎臓 中枢神経系）とした。
誤えん有害性	: データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: クロロホルム：藻類 72時間 EC50=13.3mg/L 魚類 21日間 NOEC=0.059mg/L
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: 有機炭素/水分配係数 log K <sub>oc</sub> =1.71
オゾン層への有害性	: データなし

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	: 地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装	: 容器は再利用しないこと。

## 14. 輸送上の注意

国内規制	
陸上規制情報	: 道路法及び毒物及び劇物取締法に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法に従う。
航空規制情報	: 航空法に従う。
国連番号	: 1888
品名（国連輸送名）	: クロロホルム
国連分類	: クラス 6.1（毒物）

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C1445849-M00190-37

製品名:クロロホルム ACS 500ml

容器等級 : III  
 緊急時応急措置指針番号 : 151  
 輸送の特定の安全対策及び条約 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行なう。

## 国際規制

## 運輸規制情報

Proper Shipping Name : Chloroform  
 Hazard Class : 6.1  
 Subsidiary Risk : Not Applicable  
 ID Number : UN1888  
 Packing Group : III

## 航空規制情報

Proper Shipping Name : Chloroform  
 Hazard Class : 6.1  
 Subsidiary Risk : Not Applicable  
 ID Number : UN1888  
 Packing Group : III

## 海上規制情報

Proper Shipping Name : Chloroform  
 Hazard Class : 6.1  
 Subsidiary Risk : Not Applicable  
 ID Number : UN1888  
 Packing Group : III

## その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類：クラス9（その他の危険物質）、国連番号：3316

## 15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）  
 （P R T R） クロロホルム（管理番号：127）  
 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）  
 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）  
 クロロホルム  
 健康障害防止指針公表物質（法第28条第3項、平成3年8月26日告示第57号）クロロホルム  
 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第66条第2項、施行令第22条第1項）クロロホルム  
 作業環境測定対象物質（法第65条第1項、施行令第21条）クロロホルム  
 特定化学物質・第2類物質・特別有機溶剤等（施行令別表第3第2号、特化則第2条第1項第3号の3）クロロホルム  
 特定化学物質・特別管理物質（特化則第38条の4）クロロホルム  
 特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧）クロロホルム  
 毒物及び劇物取締法 : 劇物（指定令第2条）  
 クロロホルム  
 化審法 : 優先評価化学物質（法第2条第5項）クロロホルム  
 水質汚濁防止法 : 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）クロロホルム  
 航空法 : 毒物類・毒物（施行規則第194条危険物告示別表第1）クロロホルム

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C1445849-M00190-37

製品名: クロロホルム ACS 500ml

船舶安全法	:	毒物類・毒物（危規則第3条危険物告示別表第1）クロロホルム
道路法	:	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）クロロホルム 【積載数量】1000kg
海洋汚染防止法	:	有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）クロロホルム
消防法	:	貯蔵等の届出を要する物質（法第9条の3・危険物令第1条の10六別表2）クロロホルム【貯蔵取扱量】200kg以上

## 16. その他の情報

### 引用文献等

- ① Hach Company SDS No.M00190 (Chloroform)
- ② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
- ③ ezCRIC+ 日本ケミカルデータベース(株)
- ④ JIS Z7252-2019 および Z7253-2019

### 記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

### その他

GHS分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、HACH社のGHS分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。